

【作り方説明書】

丸襟後開きブラウスの型紙

■詳細対応サイズ ・40cm ソフビ	■難易度 イージー/ノーマル/【ハード】/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地 の厚み 0.23mm	■用意するもの ・普通～やや薄手の生地 ・面ファスナー ・飾りボタン ・3mm 程度の平ゴム
■手縫い可否 NG ※袖口にゴムを縫い付けない場合は手縫い OK	■布に書き写すパーツリスト ①前身頃 1枚→そのまま1枚 ②後身頃A 1枚→ // ③後身頃B 1枚→ // ④前見返し 1枚→ // ⑤襟A 表布 1枚→ // ⑥襟B 表布 1枚→ // ⑦襟A 裏布 1枚→左右反転して1枚 ⑧襟B 裏布 1枚→ // ⑨⑩後見返し 2枚→左右反転して2枚 ⑪⑫袖 2枚→ // 合計：12枚 のパーツで構成

■必要な布量参考数値

【丸襟後開きブラウスの型紙 40cm】

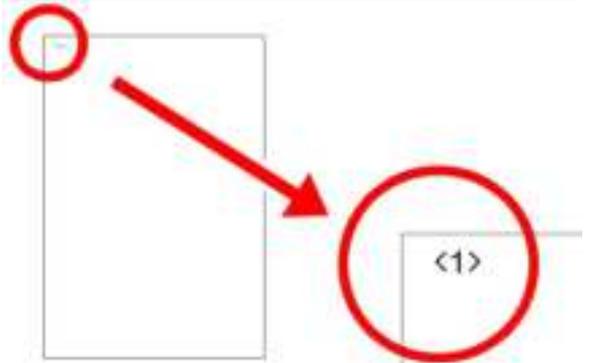
横90,110,140cm



01. 型紙を貼り合わせる

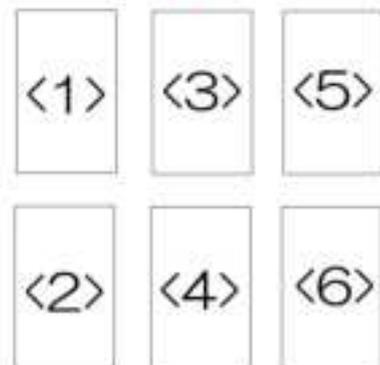
① 型紙に割り振られている番号を確認する。

〔番号は型紙の左上に記載
 ※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。〕



② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

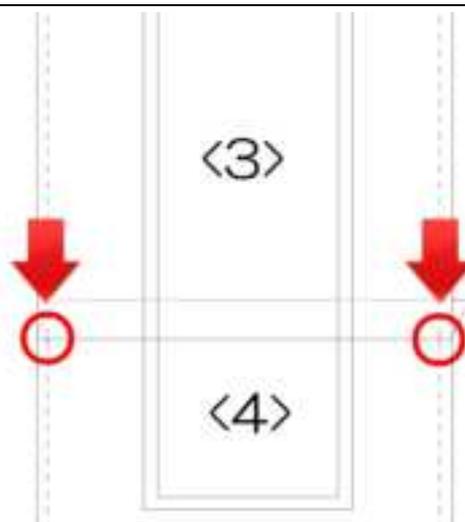
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。〕



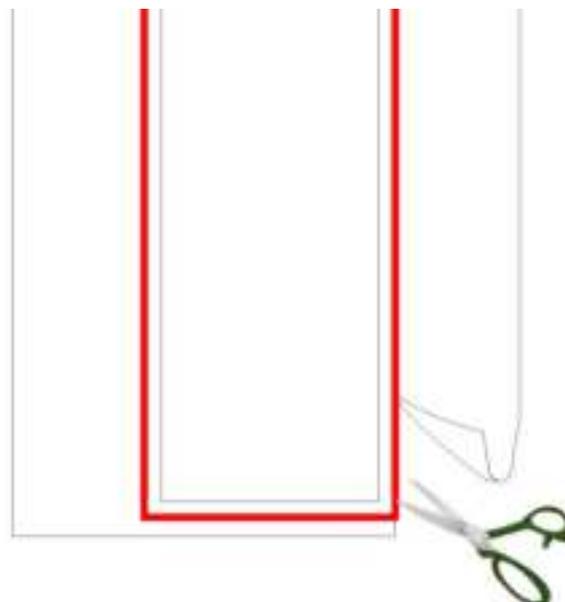
③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。



④ <5>の上側のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。

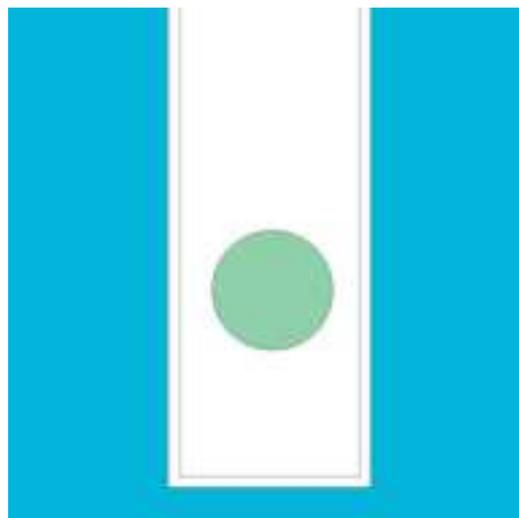


02. 型紙を切り取る。



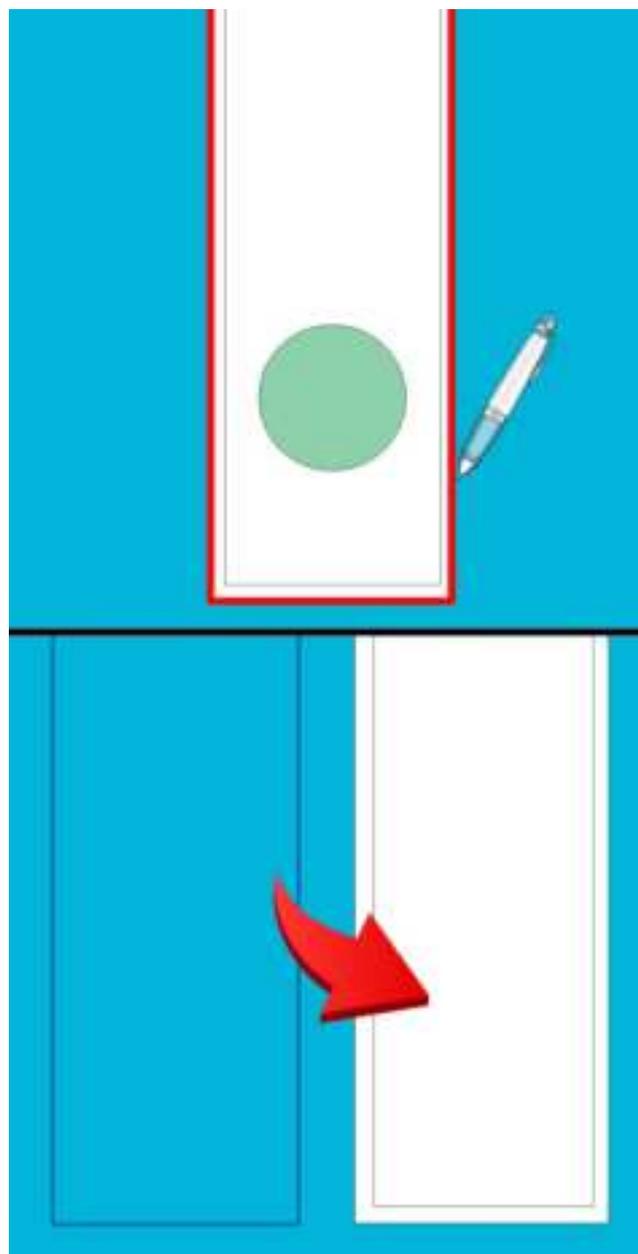
03. 布を裏にして型紙を置く。

〔まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動かない様にする。〕

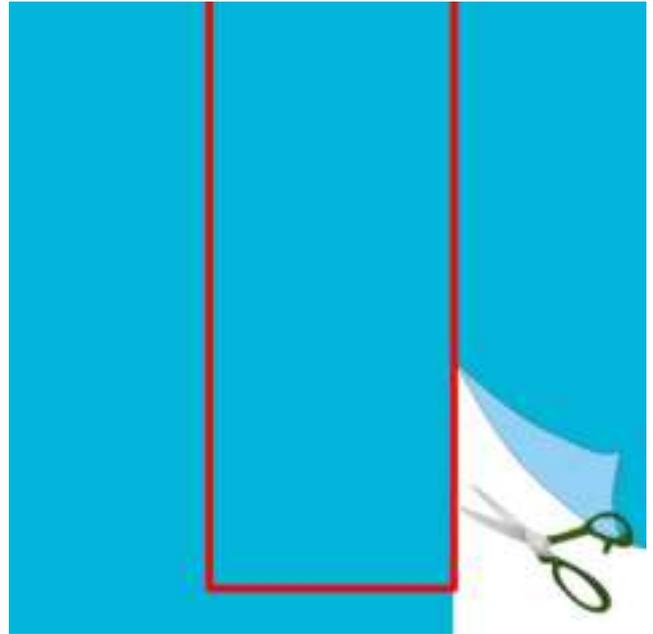


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

〔※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー 水性チャコペン〕

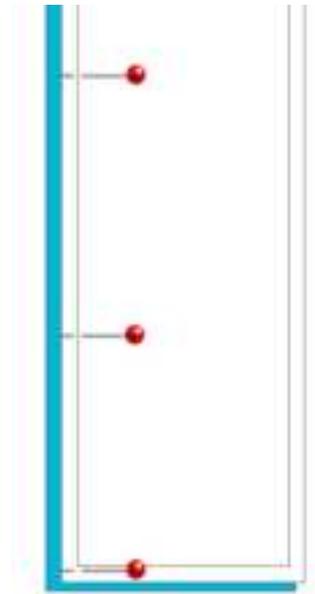


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

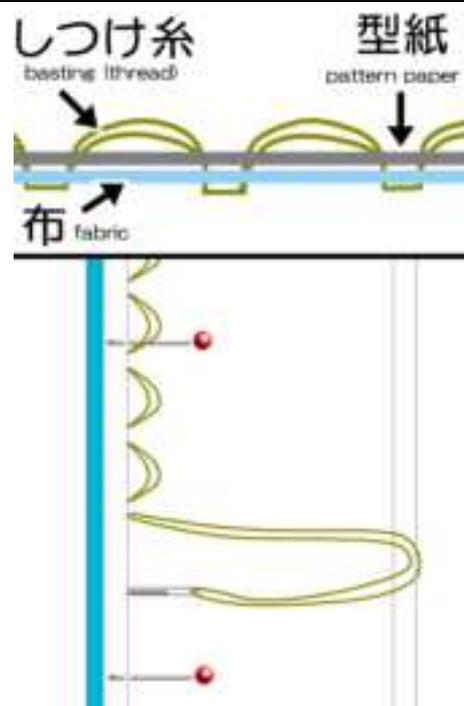
- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕



- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

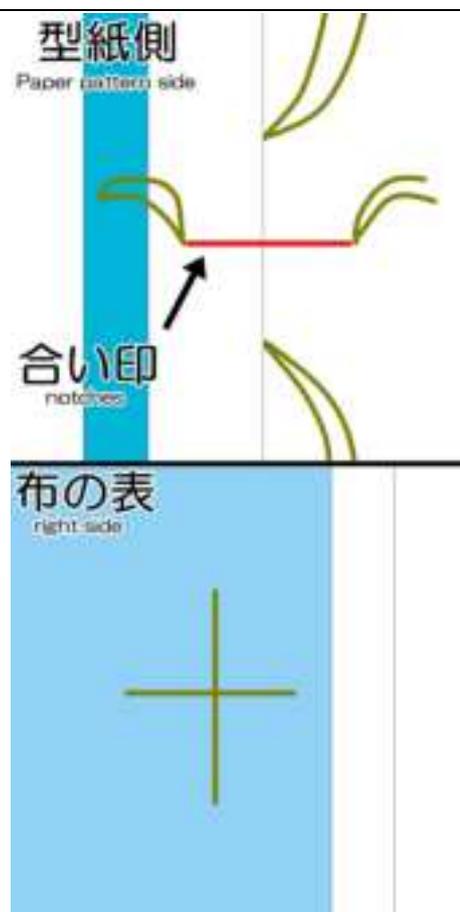
- A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
A～E を繰り返す。

〔 上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

〔糸を抜き取らない様に注意。〕



⑧ しつけ糸が抜けないうちに、
アイロンか指で糸を寝かせる。



08. 前身頃の中央を”裏から見て”山折と谷折にする。



09. 折ったところにアイロンをかける。

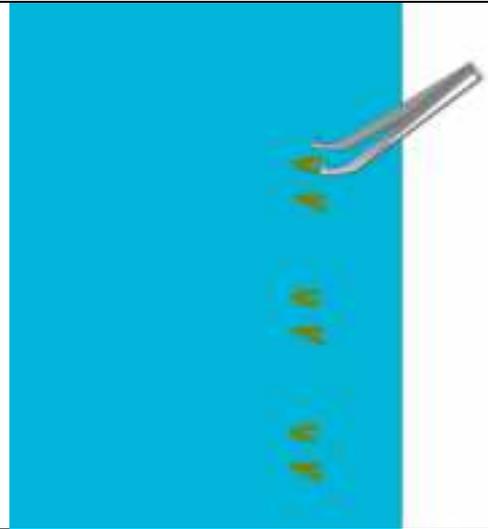


10. 09 でアイロンをかけた縁を縫う。



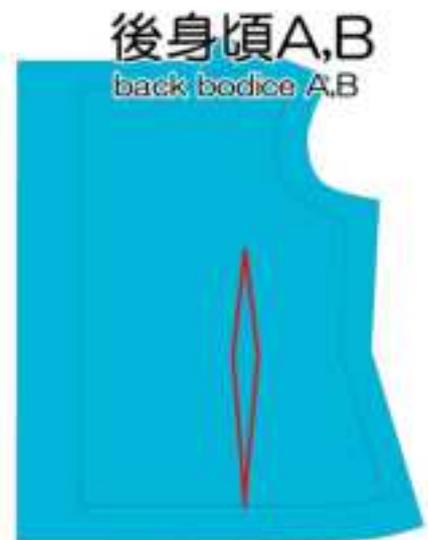
11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

- しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。



12. 前身頃、後身頃 A,B のダーツを縫う。

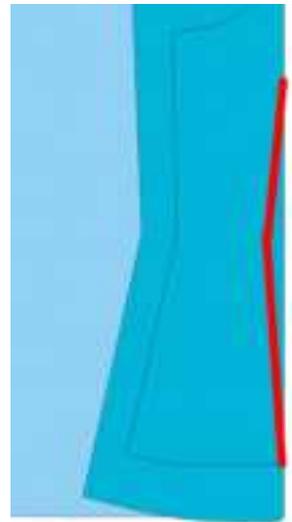
ダーツ：布を三角形に細く折って、縫った部分



表が内側になる様に、ダーツの中心で折る。



斜めになっている線を縫う。



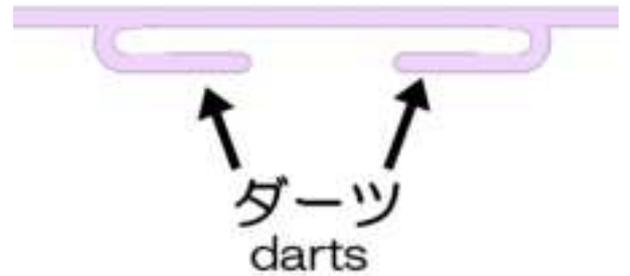
縫ったところを中心に開く。



前身頃の反対側、後身頃 A,B も同じように縫う。

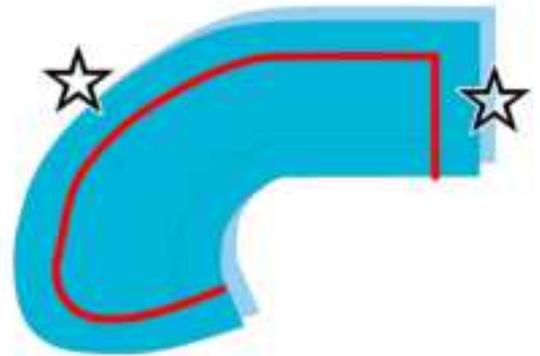
13. ダーツは中央へ倒してアイロンをかける。

下から見た時
View from below



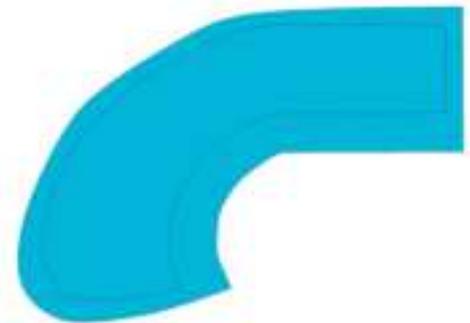
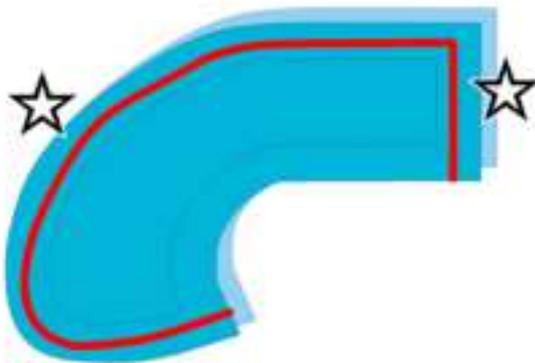
14. 表が内側になるように、襟 A 表布と裏布を合わせて縫う。

- 〔 ☆側だけを縫う。
- 〔 襟 B も同じように縫う。



15. 縫い代を 3mm 程度にカットする。

- 〔 ☆側だけをカットする。
- 〔 襟 B も同じようにカットする。



16. ひっくり返して、角とカーブを整える。

- 〔 襟 B も同じように整える。



17. 襟 A,B にアイロンをかける。



18. 前見返し、後見返し×2 にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔 解れ止め液でもよい。〕

〔 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。〕

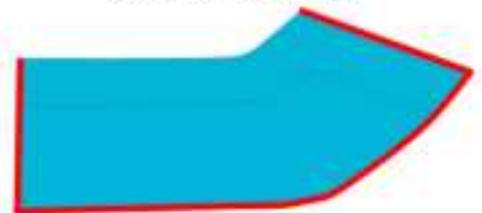
〔 布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。〕



前見返し
front facing



後見返し
back facing



19. 前身頃、後身頃 A、後身頃 B の W に切り込みを入れる。

〔 W:ウエスト。胴体で一番くびれたところ。〕

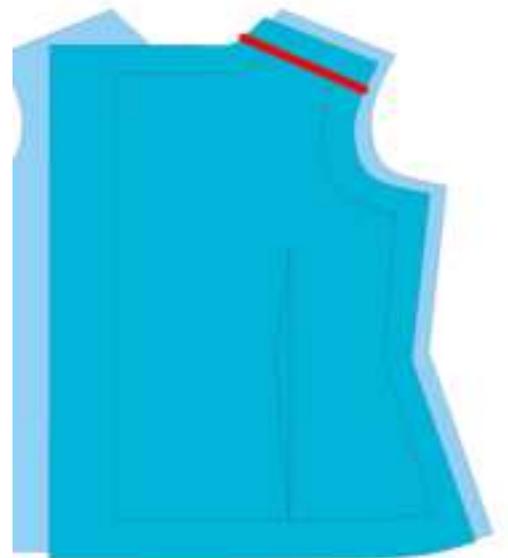


20. 前身頃、後身頃 A,B、袖×2 にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



21. 表が内側になるように、
前身頃と後身頃 A の 肩 を合わせて縫う。

〔 後身頃 B も同じように縫う。〕

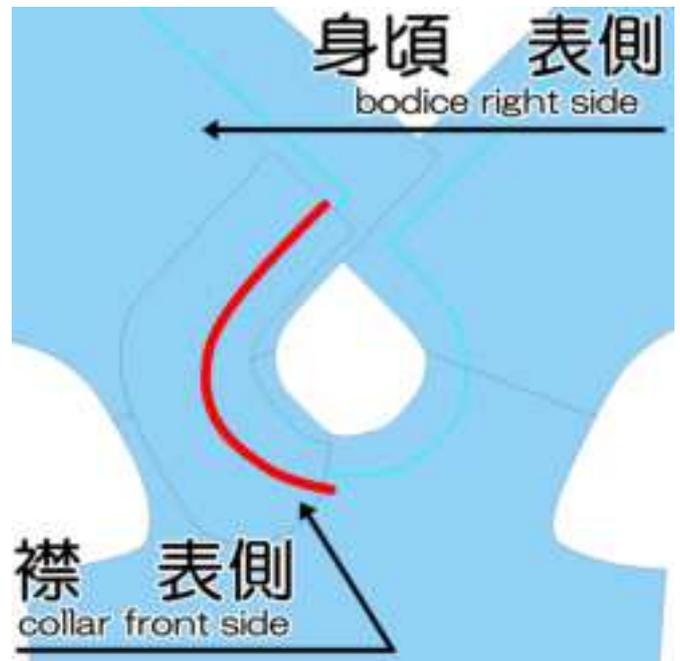


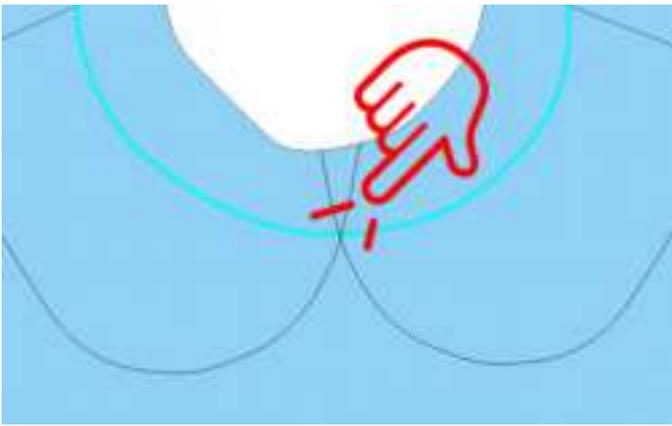
22. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



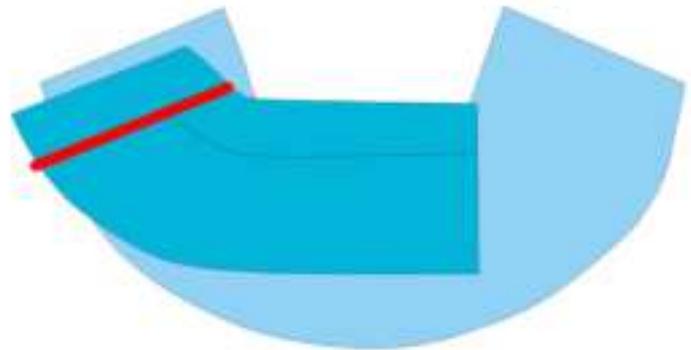
23. 身頃 表 に襟 表 を合わせて仮縫いする。

〔前中心に襟をしっかりと合わせると、出来上がりが綺麗になる。
後身頃 後中心の出来上がり線に襟の端が合うようにする。
縫う前に、身頃の上に襟を置き、長さを確認する。〕

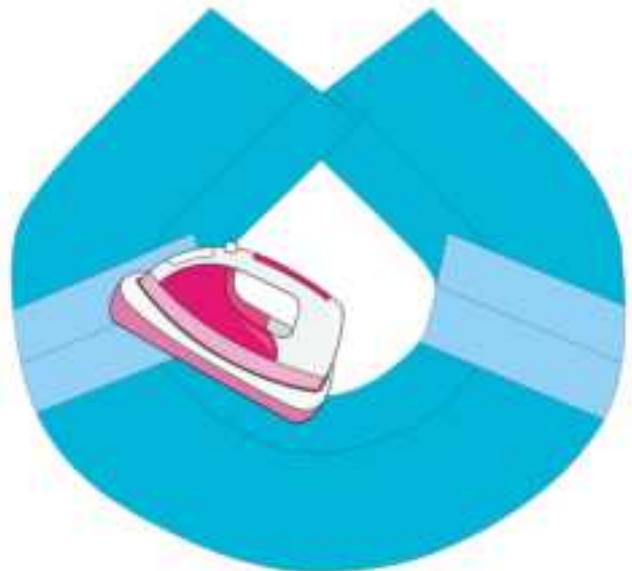




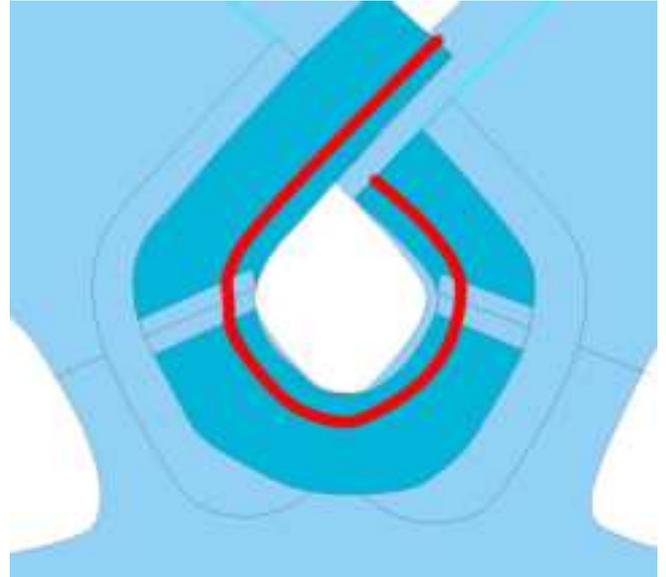
24. 表が内側になるように、
前見返しと後見返しを合わせて縫う。
〔反対側も同じように縫う。〕



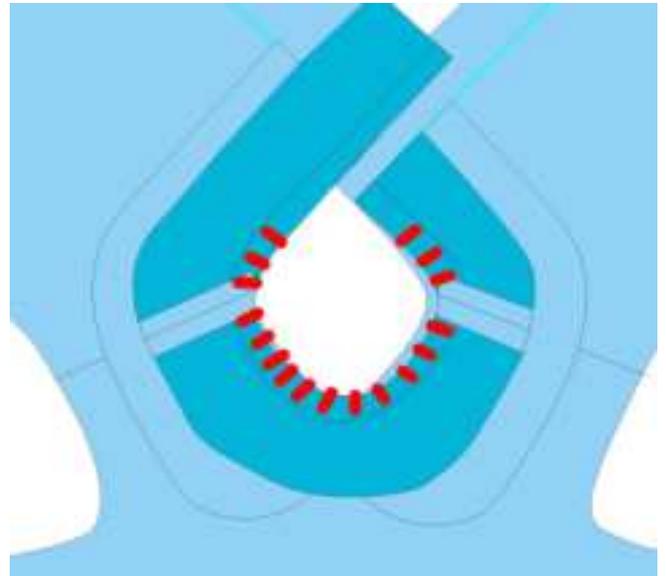
25. 縫い代を開いてアイロンをかける。
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



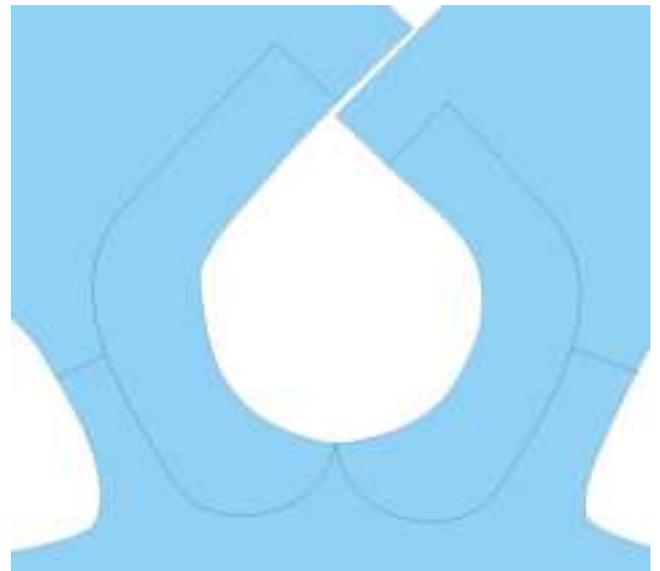
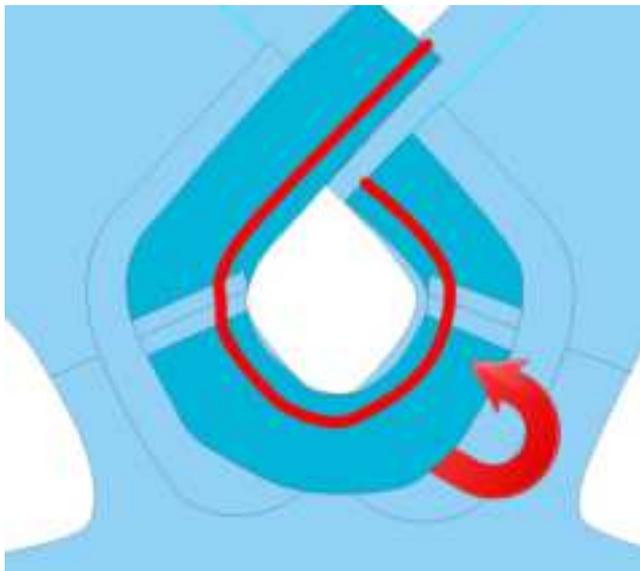
26. 表が内側になるように、
23 の身頃と見返しを合わせて縫う。



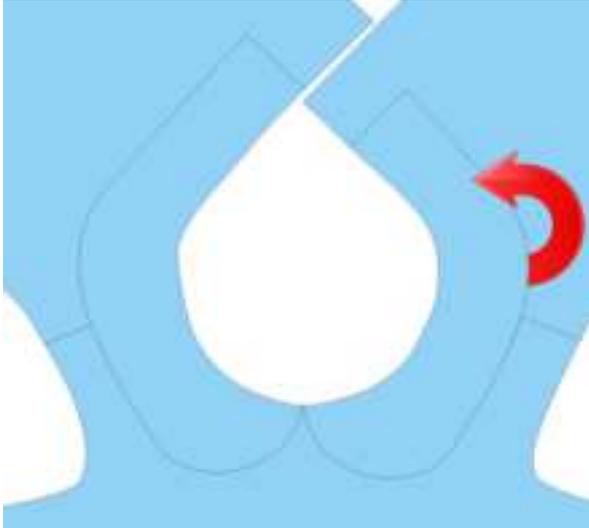
27. 襟のカーブに切り込みを入れる。



28. 見返しを折り返す。

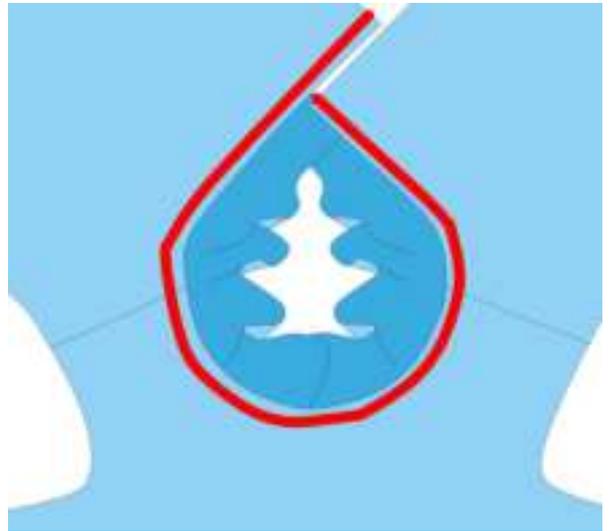


29. 襟を持ち上げ、内側に移動する。



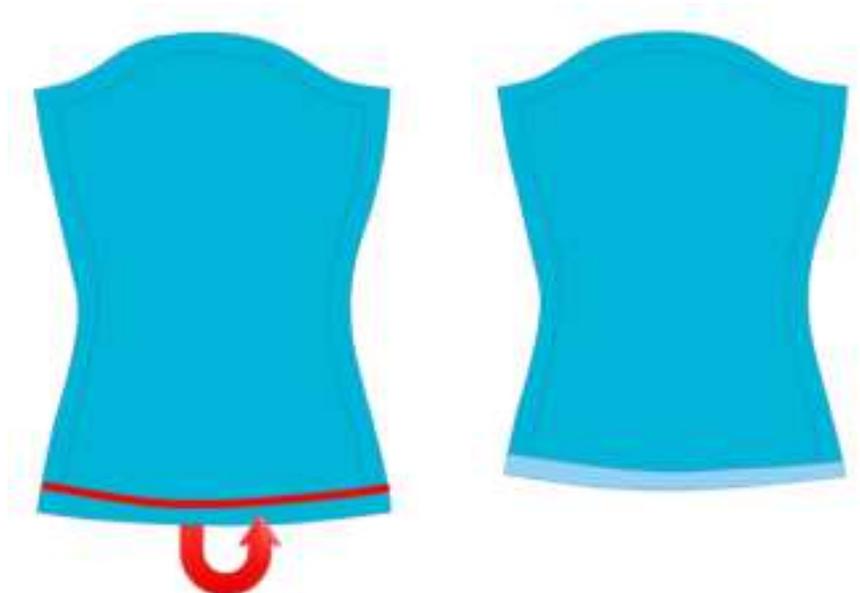
30. 縁を縫う。

〔襟を巻き込まない様に注意。〕



31. 袖口を折る。

〔反対側も同じように折る。〕



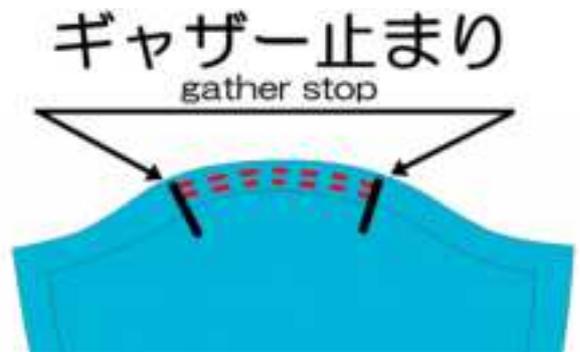
32. 縁を縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕



33. 袖山の ギャザー止まり の間にギャザーを寄せる。

〔反対側も同じようにギャザーを寄せる。〕



① ミシンの上糸の糸調節を“弱”にする。

〔ダイヤルの場合は0にする。〕



② 縫い目の長さを4mm程度にする。

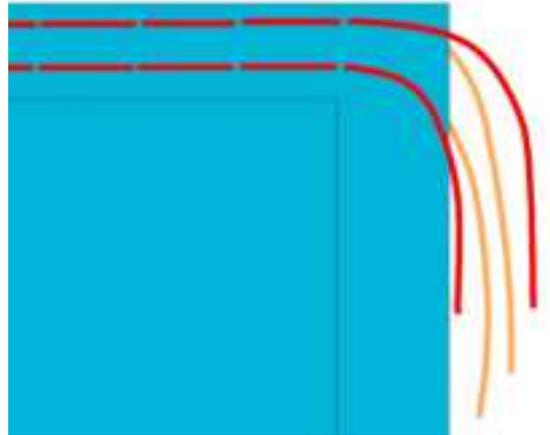


③縫い始めの糸は上下共に 10cm 以上出しておく。

〔 上糸と下糸の色を変えておくと、
後でわかりやすい。〕



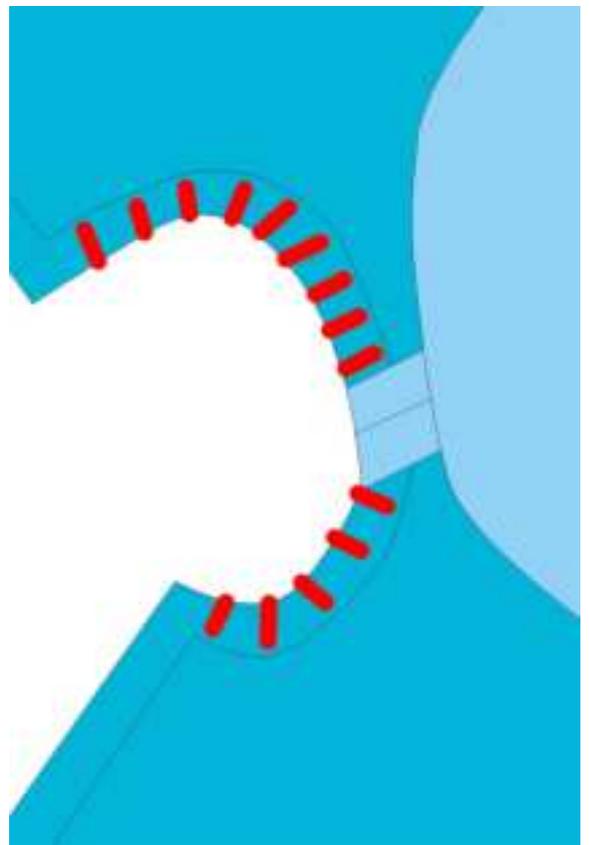
④布の端から 2mm 程度のところを縫い、
縫い終わりの糸も 10cm 以上残して切る。
2 本目は布端から 4mm 程度のところを縫う。



⑤上糸の調節 (①) と、縫い目の長さ (②) を元に戻す。

34. 袖ぐりに切り込みを入れる。

〔 袖ぐり：袖を付ける為の身頃側のカーブ
反対側も同じように切り込みを入れる。〕



・袖口にゴムを入れない場合は 39 へ

※ゴムを入れない場合は、簡易的な姫袖風になります。

ゴムの縫い付け無し no sewn elastic



・別の方法で袖口にギャザーを寄せる場合は TIPS(最終ページ) へ

35. 平ゴムを必要なサイズに切って、
端から 5cm のところに印を入れる。

〔 40cm ソフビ→10.2cm



36. 袖口の ギャザーを寄せる に平ゴムの端の片方合わせて縫う。

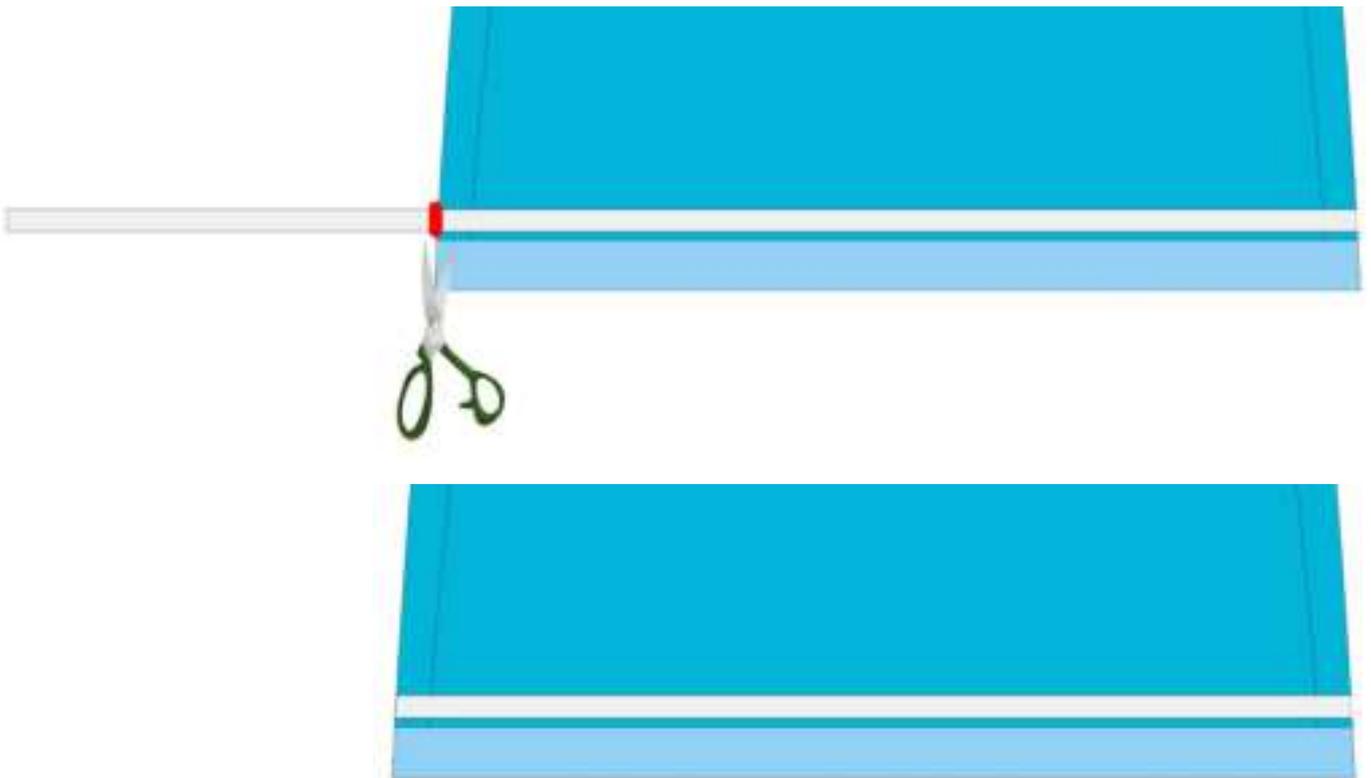


37. ゴムを伸ばしながら縫いつける。

“5cm”の部分は縫う際に”持ち手”として使う。
縫い進めるとゴムの力で丸まって来て縫い辛くなる為、
大き目のクリップ等で縫い代を挟んで、
軽く重りを付けると良い。
※画像は生地下にセロファンを挟んでいますが、
伸びない生地の場合は無くても縫えます。
反対側も同じように縫う。

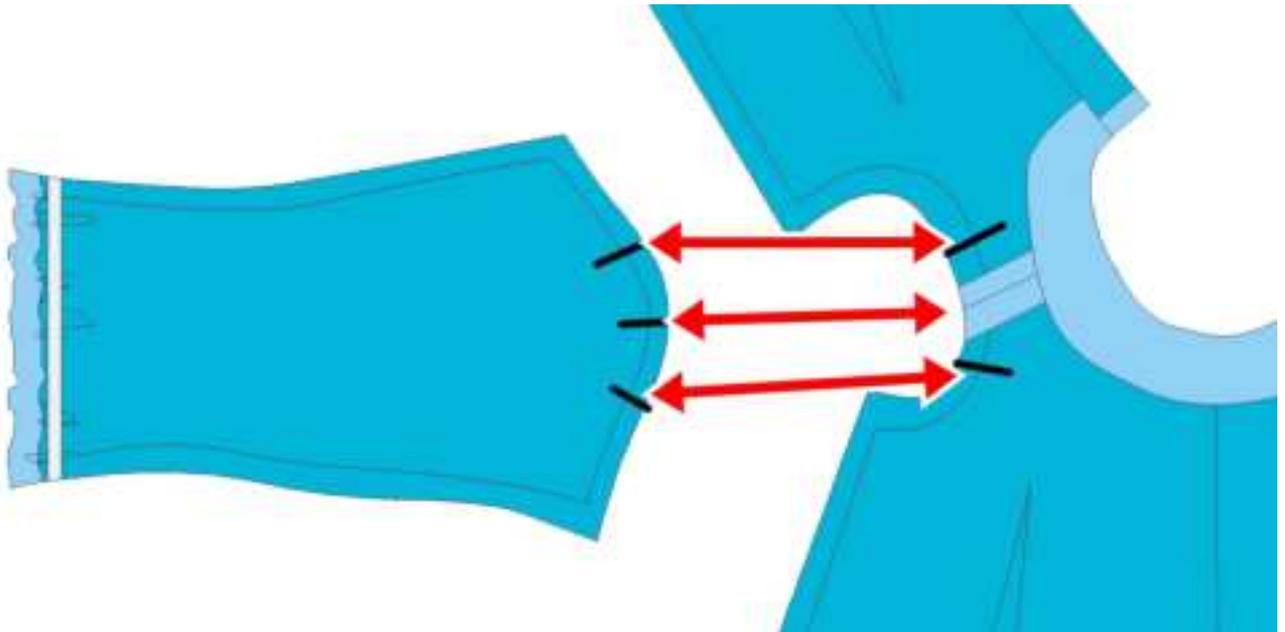


38. 余分なゴムを切り落とす。



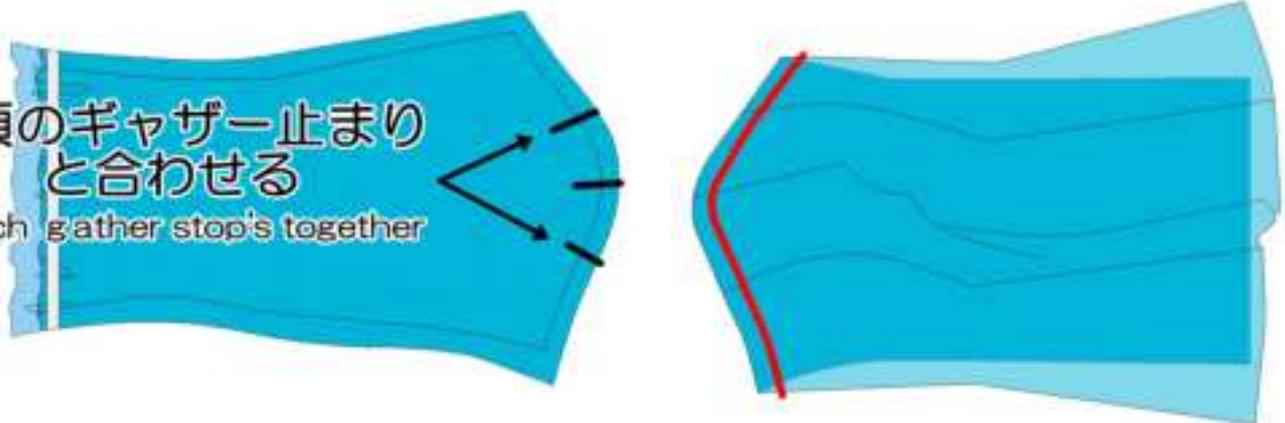
39. 表が内側になる様に、袖と袖ぐりを合わせて縫う。

〔反対側も同じように縫う。〕



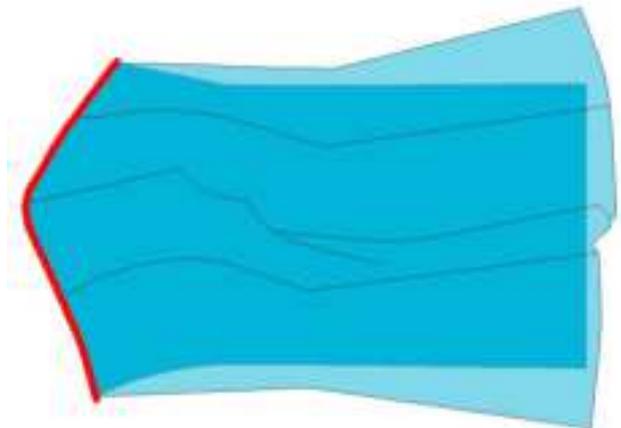
身頃のギャザー止まり
と合わせる

match gather stop's together

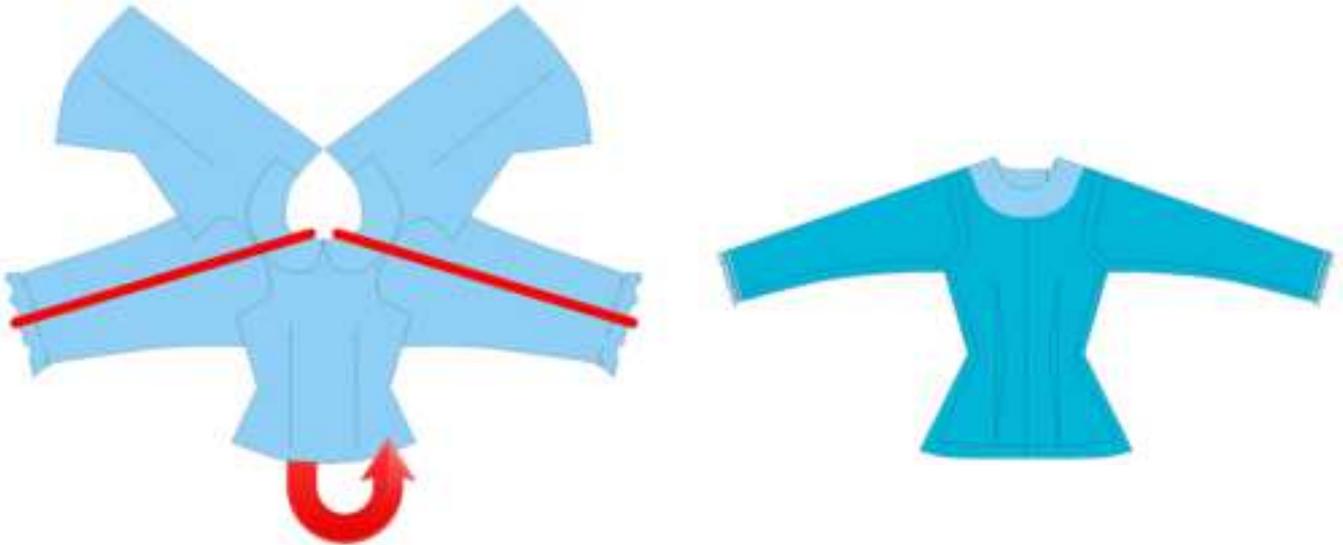


40. 縫い代にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔袖と身頃を一緒に縫う。
反対側も同じように縫う。〕



41. 表が内側になる様に、半分に折る。



42. 袖口から裾までを縫う。
〔縫い代を袖側に倒す。〕

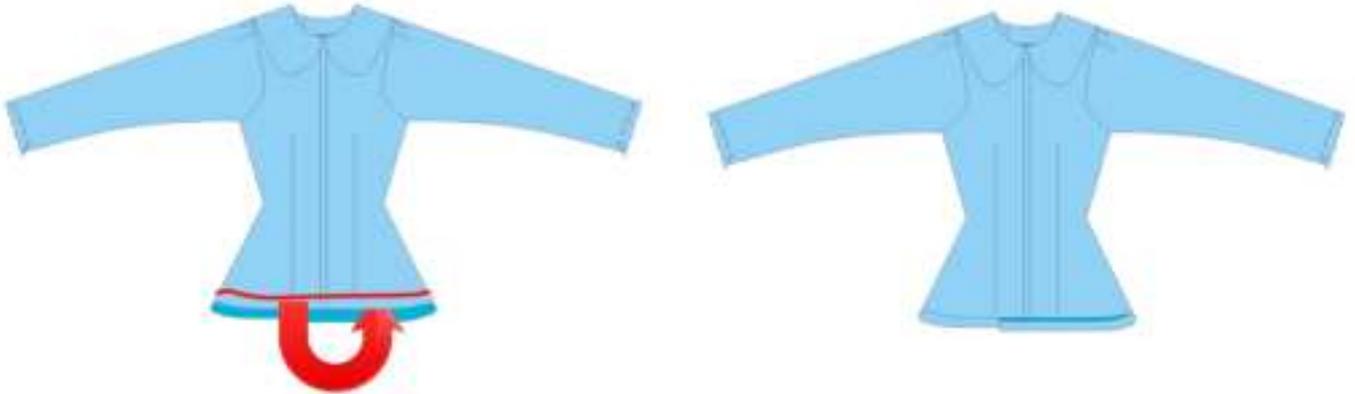


43. 表に返す。

44. 身頃裾にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。



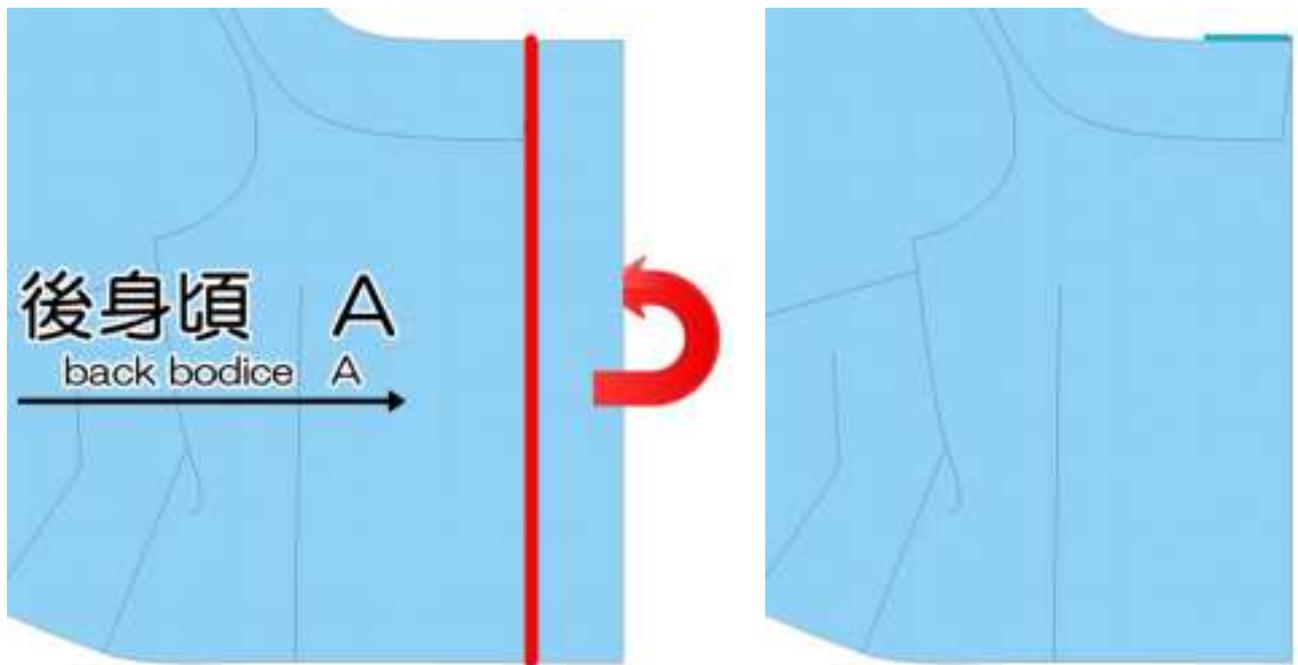
45. 裾を内側に折って、端を縫う。



46. 端を縫う。



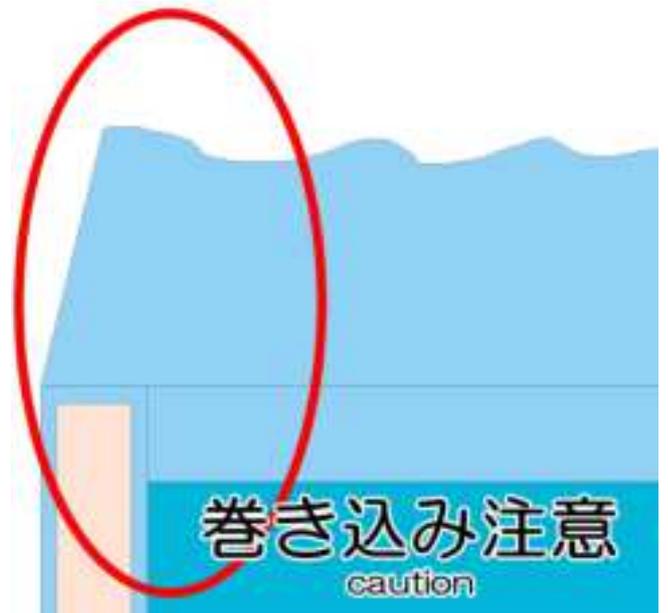
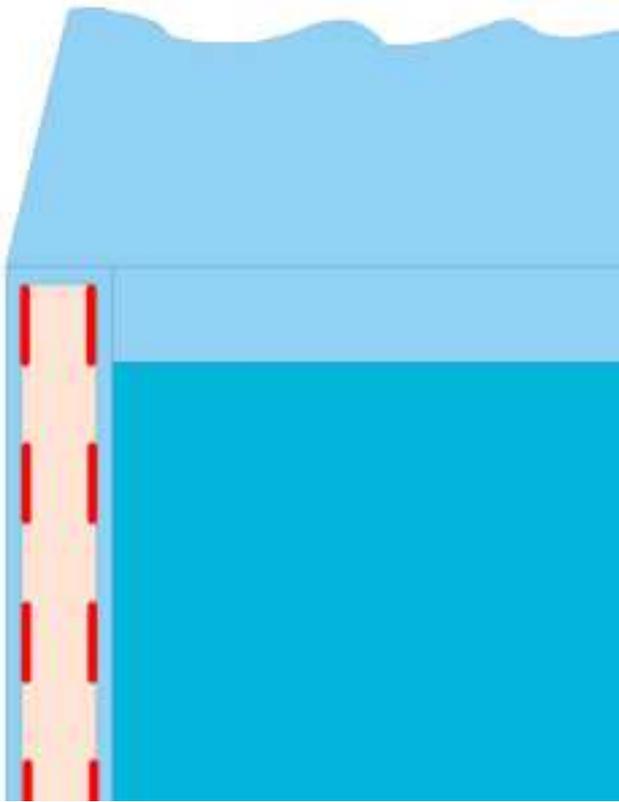
47. 後身頃 A の縫い代を折る。



48. 面ファスナーをオス、メス各 10.5cm×0.7cm に切る。

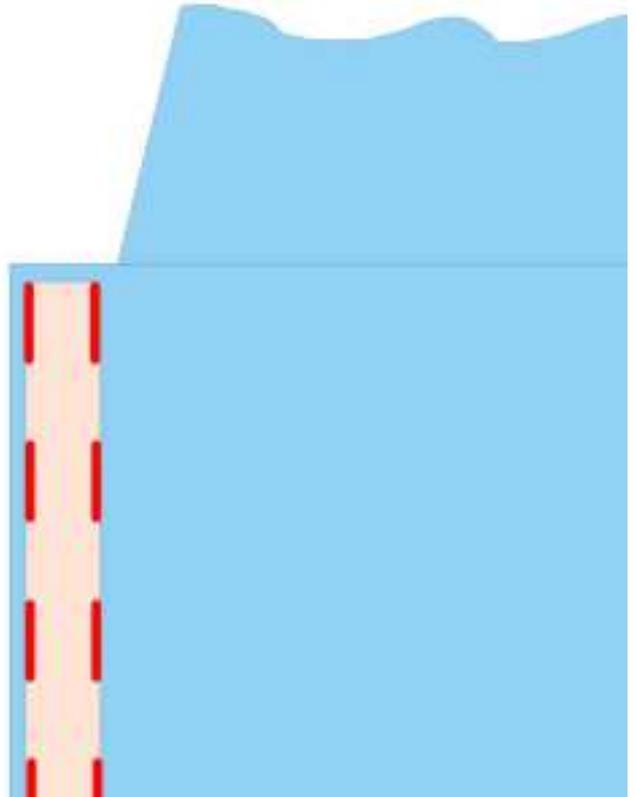
49. 後身頃 A の裏に面ファスナーを仮縫いでとめる。

〔襟を巻き込まない様に注意。〕

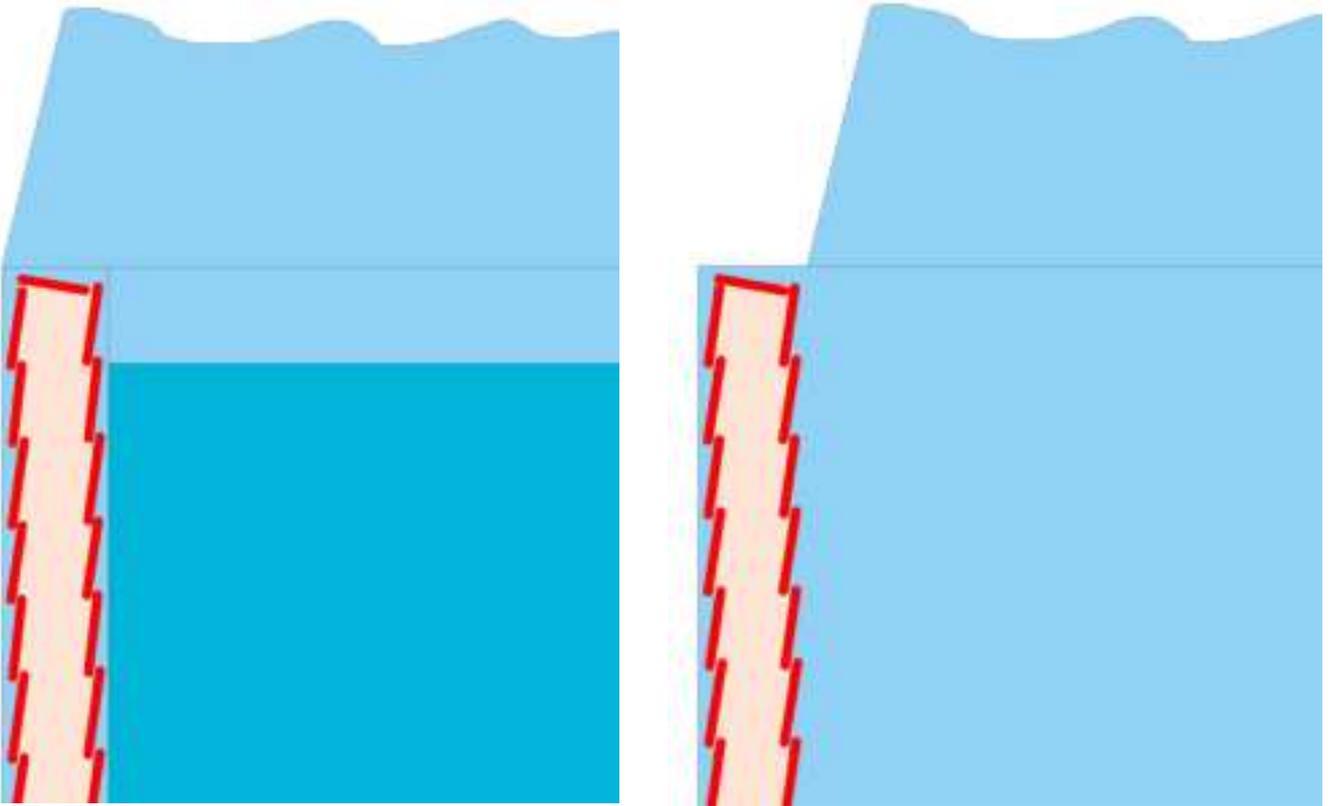


50. 後身頃 B の表に面ファスナーを仮縫いでとめる。

〔襟を巻き込まない様に注意。〕



51. 仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いかミシンで縫い付ける。

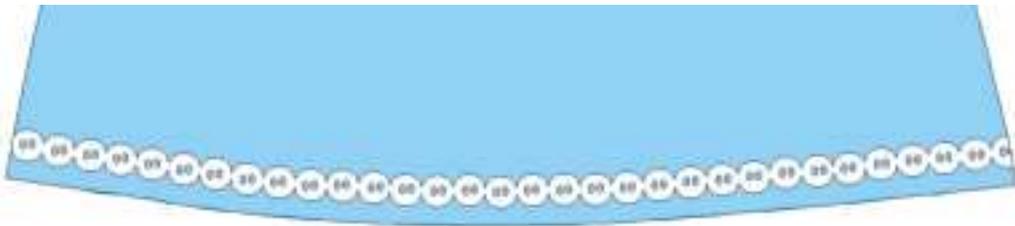


52. 前身頃中央に飾りボタンを付ける。

TIPS：別の方法で袖口にギャザーを寄せる

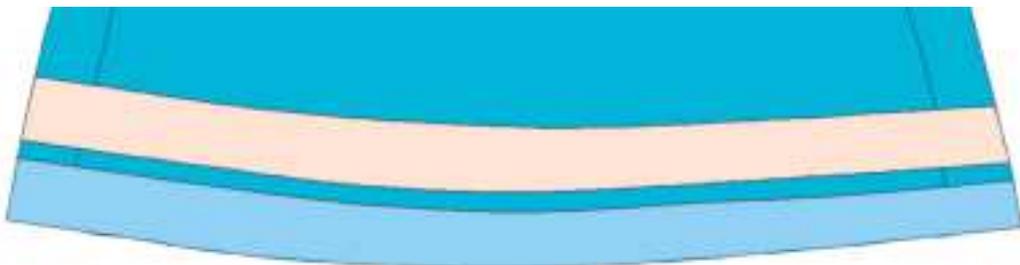
[案 1]梯子レース+リボン

リボンは先に端を縫い付けても、脇を縫った後で梯子レースに通しても良い。



[案 2]ゴム通しパーツを作る

裏から縫い付けゴムを通す。



お疲れ様でした！